



# 令和8年度 茨城県立下妻特別支援学校 キャリア教育全体計画

## 教育目標 ～ひとりひとりの笑顔が輝く「下特チーム」～

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育を行うことにより、自立と社会参加を目指した「生きる力」と調和のとれた豊かな人間性の育成を図る。

### 目指す学校像

- ◇こころとからだにやさしい学校
- ◇「夢や希望」に向かって努力する力を育てる学校
- ◇信頼とつながりを大切にする学校

### 中期的目標

- 1 安全で安心できる「学びの場」づくり
- 2 自立と社会参加に向け、個性や特性に応じた指導・支援の充実
- 3 肢体不自由教育の専門性の向上
- 4 地域との連携、支援体制や信頼関係の構築

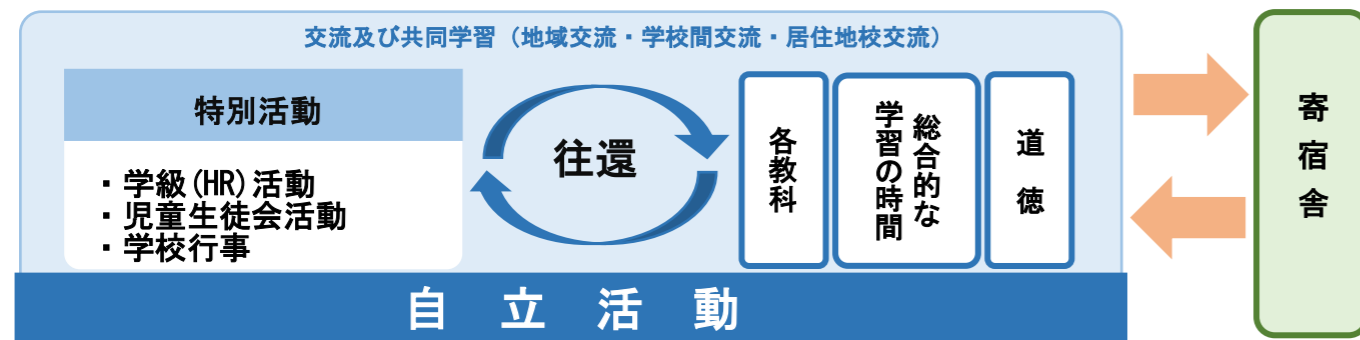
### 重点目標

- 安全・安心な学校づくり
- 個性や特性に応じた指導・支援の充実
- 自立と社会参加に向けた教育活動の充実
- 肢体不自由教育の専門性の向上
- センターの機能の充実

## キャリア教育とは

- ・一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、**キャリア発達\***を促す教育  
※社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程
- ・基本的な方向性として、幼児期の教育から高等教育まで体系的にキャリア教育を進めること。その中心として、**基礎的・汎用的能力を確実に育成**するとともに、社会・職業との関連を重視し、実践的・体験的な活動を充実すること。
- ・児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、**特別活動\***を要としてつつ**各教科・科目等の特質に応じて**、キャリア教育の充実を図ること。※「学級活動(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行うこと。

## キャリア教育全体のイメージ



上記の活動が  
下記の能力の育成につながる

### 基礎的・汎用的能力

(社会的・職業的自立に向けた能力・態度を育てることを通して促される力)

| 人間関係形成<br>・社会生活形成能力  | 自己理解・自己管理能力  | 課題対応能力   | キャリアプランニング能力   |
|--|--|--|--|
| ◇コミュニケーション<br>◇社会性   | ◇自己の役割<br>◇主体性<br>◇自己の障害受容   | ◇情報の収集・活用<br>◇計画・立案・実行   | ◇学ぶこと・働くことの意義や役割の理解<br>◇将来設計   |
| ○相手の存在に気づき、受け入れる力<br>○自分の意思や要求を相手に伝える力<br>○集団参加に必要な力(挨拶や言葉遣い、約束やきまり、マナー)<br>○互いの意見や考えを認め合いながら協力して活動する力 | ○健康状態を維持したり生活リズムをつけたりする力<br>○自分の役割を理解し、自ら進んで学習等に参加する力<br>○自分を律する力、忍耐力<br>○達成感に基づく肯定的な自己を理解する力、前向きに考える力 | ○様々な環境へ関心を持ち、変化に対応する力<br>○自分の課題を発見したり分析したりし、解決策を考える力<br>○課題解決に向けた具体的な実行と自分のがんばりを評価することができる力<br>○見通しをもって行動する力 | ○好きなことや得意なこと、得意なことに取り組み、興味関心を高める力<br>○自分のやりたいことや活動を選択し決定する力<br>○日常生活や学習と将来の生き方との関係を理解する力 |

「茨城県立下妻特別支援学校 キャリア教育の発達段階」 参照

## 本校のキャリア教育目標（かかわる・つながる・じぶんらしく）

- 多様な他者とのかかわりを通して自己理解や他者理解を深め、協力・協働する意欲や態度を養う。
- 自分の役割をはたすための自己選択、自己決定の意思及び意欲の向上を育む。
- 現在や将来の生活の課題を解決していく力を育み、自分らしい生き方を実現する力を培う。

## キャリア教育の要となる特別活動（学級活動、児童生徒会、学校行事）

### 資質・能力を育成するための3つの視点

- 1 人間関係形成： 集団の中で、人間関係を自主的、実践的によりよいものへと形成する視点
- 2 社会参画： よりよい学級・学校生活づくりなど、集団や社会に参画し様々な問題を主体的に解決しようとする視点
- 3 自己実現： 集団の中で、現在及び将来の自己の生活の課題を発見し、よりよく改善しようとする視点

| 知識及び技能   | 思考力、判断力、表現力等   | 学びに向かう力、人間性  |
|--|--|--|
| 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 | 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 | 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。 |

往還

各教科等・自立活動

## 各学部における系統的な支援の目安

| 小学部   | 中学部  | 高等部   |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活動作や生活習慣の定着を図る。</li> <li>・学校内の身近な人に対して、自分の気持ちを伝えたり相手からのかかわりを受け止めたりする力を高める。</li> <li>・様々な活動や役割を通して楽しさややりがいに気づき、自己肯定感や自己有用感を高めるとともに、興味関心を広げ、日常生活をよりよくしようとする意欲を育む。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の生活や将来の生活を想定した基本的生活習慣の確立に努める。</li> <li>・学校内の身近な人だけでなく、様々な人とのかかわりを通して、社会生活に必要なルールやマナーを知り、自分らしく表現する力を高める。</li> <li>・職業に関する学習や体験を通して、自己理解を深めたり、自らの適性を吟味したりして、主体的に進路選択をしていく力を高める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後の社会生活を想定した生活習慣の確立、健康的な心身の維持向上に積極的に取り組む。</li> <li>・学校内外の多様な人とのかかわりを通して、互いのよさや多様な考え方を認め合う力を高める。</li> <li>・実社会での体験を通して、自らの適性を理解したりやりがいに基づいた自己選択や自己決定をしたりし、卒業後の進路決定をしていく。</li> </ul> |

## 寄宿舎の教育目標

- 1 一人一人が自らの力を生かし、豊かにたくましく生きる力を育てる。
- 2 自らの生活を作り上げる活動を通して、主体的に生きる力を育てる。
- 3 寄宿舎行事を通して、生活をより豊かで楽しく作り上げる力を育てる。
- 4 よりよい人間関係を築き、相手の考えを知り、自分の気持ちを伝え、自分らしく生きていくための力を育てる。
- 5 防災に対する意識向上を図り、災害に備え身を守る力を育てる。